

会派「新生みらい」 市政報告

発行 東金市議会 会派新生みらい
代表 清宮利男
住所 東金市丹尾150
連絡先 090-3680-0818
発行日 2024年11月1日

ごあいさつ

皆様には、平素より市議会活動へのお力添えや親身のご指導を賜り、誠にありがとうございます。

今年の夏は、記録的な厳しい猛暑が続きましたが、ようやく朝晩には肌寒い日も多くなり、秋の深まりを感じるようになってきました。

会派「新生みらい」は、皆様のご意見を拝聴しながら暮らしに密着した日々の課題を基に、新たな視点で『暮らしやすいまち、住み続けたいまち東金』を目指して、議員活動を続けています。

現在、東金市でも、「少子高齢化」、「防災」、「物価高騰」といった様々な難題を抱えておりますが、今回は、会派として重要視している行政課題を中心に皆様へご報告させていただきます。

会派「新生みらい」代表 清宮利男



学校給食費の無償化について

学校給食は、子どもたちの心身の健全な発達を支えるため、栄養バランスのとれた食事を提供するものです。

現在、経済的に子育てを支援するため、学校給食費を無償化する市町村が全国的に広がっております。

山武地域では芝山町、横芝光町、九十九里町などが無償化を実施しており、大網白里市では給食費の一定額を保護者へ補助する制度があります。

しかしながら、東金市では逆に2024年4月から給食費を約12%（小学生1人あたり年間6,600円、中学生1人あたり年間7,700円）値上げすることを決定しました。

我が会派「新生みらい」は、子育て家庭の負担増を伴うこの値上げに反対し、各家庭の負担軽減のための補助制度創設と予算計上（総額約2,000万円）を、議会の賛同を得て実現させたいと考えています。

今後も未来を担う子どもたちが健康に育まれるよう、経済的に子育てを支援する「学校給食費の無償化」を目指してまいります。

また、地元産有機米などを使用したオーガニック給食の実施についても検討してまいりたいと考えております。



新ごみ処理施設の建設について

東金市外三市町清掃組合で建設する新ごみ処理施設について、20年間の運営費を含めた総事業費は391億円、現施設の解体費用も含めた東金市の負担額は約173億円です。

当初の計画における総事業費は260億円でしたが、昨年5月の入札公告予定1ヶ月前に131億円増額（約50%）した391億円となることが示されたため混乱が生じ、入札公告は延期となり今年6月定例会において予算案は否決されました。

その後の再議では可決となりましたが、私ども「新生みらい」5名は、事業費50%の増額理由の詳細と人口減少による規模縮小を求め反対いたしました。

これからも市民の皆様のご意見・要望をお聞きしながら、是々非々で議員活動を続けてまいります。





石崎公一

東千葉メディカルセンターの 経営状況について

現行の第4期中期計画では、「令和7年度に経常収支比率100%の達成、稼働病床301床」という目標が設定されていますが、現在稼働している病床は279床（令和5年度時点）、運営状況については約6億3,000万円の赤字（令和5年度第3四半期）であり、達成は非常に困難であると思われます。

特に赤字については、既に設立団体では賄い得ないものとなっています。

令和5年度第3四半期までの救急搬送の実績を見ると、東金市が21.1%、九十九里町が7.2%であるのに対し、山武市13.7%、大網白里市18.5%、長生地域23.7%となっており、私は「周辺市町村からの費用分担について協議をする必要がある」と指摘をしてきましたが、全く進展が見られていません。

当局からは「様々な機会を活用して、粘り強く説明していく」との答弁をいただいていますので、進捗状況を随時確認していきます。

新ごみ処理施設整備について

ごみ処理施設は、市民の皆様にとって必要不可欠な行政サービスです。

かねてより、新ごみ処理施設整備にあたっては、市民の皆様のために「より良いモノを、より安く、より早く」整備するべきであると提言しています。

しかし、単独での建設に向けて準備を進めていながら、ギリギリになって「両にらみ（山武郡市環境衛生組合との合併も視野に入れる）」と発言するなど、市長の本気度が全く伝わってきません！自分の口から「単独でいく」「合併でいく」など、はっきりした態度を示さないと建設が遅れます。費用も上がります。市政に混乱を招くばかりです。

市民の皆様のためにも、リーダーが強い意志を持ち、自ら汗をかいて働くことが重要です。市民不在で進むことがないように引き続き市政の動向を注視していきます。



保科勇

東金市の想定される 地震の被害と対策について

令和6年1月に発生した能登半島地震では、多くの住宅が倒壊し、津波や火災で多くの命と住居が奪われています。東金市の地域防災計画では、マグニチュード7.2の本市直下型地震を想定し、揺れによる建物被害は全壊が約1,000棟、半壊約3,500棟と想定されています。

建物総数は約25,000棟、新耐震基準に満たない住宅は、約7.6%を占めており、市の第一庁舎をはじめ、建物の耐震化を進める事は、災害時の減災に繋がる有効な対策となります。

本市の住宅耐震化の補助制度は、耐震診断費用と耐震改修の設計・監理費用、及び工事費用の合計で、50万円を上限に補助を行っています。



人口減少に対する 移住・定住を促進する取組について

今年の4月に「人口戦略会議」が、2020年～2050年の30年間で、20代～30代の女性人口の減少率が50%以上の自治体は、将来的に「消滅の可能性がある」との公表がされています。

東金市は10年前の「消滅可能性自治体」から脱却していますが、「自立持続可能性自治体」を目指す取組が必要です。移住・定住促進の施策には、雇用の創出に向けた企業誘致、多様な保育ニーズに対応する幼保再編の取組や子ども医療費扶助制度の拡充と子育てをスタートする世帯に対して市独自の助成制度を創設するなど、子育て環境を整備し、国庫補助事業の活用による少子化対策で、若者に対する結婚新生活支援などの取組が挙げられます。

雇用の施策には、就労情報を提供する千葉労働局と共同で「東金市地域職業相談室」を市役所別棟に設置した事で求人情報の閲覧など利便性の向上が図られ、また、近隣市町と合同で、地元で就職を希望する方と地元企業とのマッチングを目的とした、企業説明会「地元企業お仕事フェア」を毎年開催しています。



学校教育について ～「希望の登校 満足の下校」～

佐久間治行

学校は子どものためにあるものです。児童生徒誰もが「希望の登校 満足の下校」を実感してもらえ学校経営・学級経営が理想です。理想として語られるだけでなく、実現できるよう教育委員会や学校現場で取り組む必要があります。

不登校児童生徒が増え、全国で20万人もいます。不登校の原因は本人の問題、家庭の問題が主なものとして扱われています。

しかし私は、教職員の不適切な言動により、不登校になる子どももいる事実を見逃すことはできません。現代の子どもは心身共に弱く傷つきやすくなっているように思います。

教職員は子どもたちひとり一人の状況や心情に寄り添い、日々の教育をすすめてほしいです。そのためには教職員の指導力向上を目的とした「教職員研修」が必要です。県の教育委員会でも研修を進めていると思いますが、東金市独自の研修計画を強く要望しています。



農業振興について

～「食は命！ 地消地産の推進を」～

私たちの豊かな食卓を支えているのは農林水産業に携わっている方々です。今農業従事者の高齢化や後継者不足が言われていますが、これは農家の責任ではなく社会全体の問題です。

私は地消地産を提唱しています。「地産地消」は住んでいる土地で生産されたものを食べることです。「地消地産」はその地域で必要とされる農産物を計画的に生産することです。

農家を守ることの1つの方法としてこの「地消地産」の取り組みがあります。地域の学校、病院や施設、一般家庭での野菜の消費量を把握して、その必要量を農家と相談して栽培することで、売れ残りがなく農家の収入の安定にもつながります。

では、誰がこの取り組みを進めるのか。市の農政課、農業委員会、そして農業振興の役割を担うべき「道の駅みのりの郷東金」です。

国民の食を支える農業生産者が世の中で一番大切にされなければならないと思っています。



学校教育施設の整備について

鳥海翔平

東金市内の教育施設（幼稚園・小学校・中学校）は築40年以上を経過しているものが4割を超えています。学校は教育施設としてだけでなく、防災・地域コミュニティの中心となるものであり、市民サービスの向上に直結するものです。

本市では少子化による影響で児童・生徒数が減少しており、学校本来の適正基準を満たさない施設も存在しております。将来的な教育環境のプランニングと、施設の維持管理費の適正化の計画策定などの早急な対応を市に求めています。

市としては保護者や地域の方の理解を得ながら、公共施設全体の整備手法を判断していくが、教育施設のみで100億円以上の財政捻出を行わなければならないことが課題となっています。小中学校体育館の冷暖房の完備や、ユニバーサルデザインを取り入れた施設更新。更には「東金市で子供を学ばせたい」と思わせる教育施設整備を推進する為にも、今後も調査研究し、市に訴えていきたいと思っています。

子育て支援について

現在東金市では子育て支援の事業として幼保再編による保育受け皿の確保に着手しています。もちろん保育受け皿の確保も大事なことですが、金銭的な援助や、子育てをこの町でしたいと思わせる子育てインフラ整備を推進する必要があります。

そのためには、給食費の無償化・高校生までの医療費の無料化をはじめ、図書館や児童館などの多機能化・施設更新を含めて「子育てしやすい」「子育てしたい」まちづくりを推進しています。

市としては、限られた財源の中で継続的支出となる無償化の取り組みや、多額の財政支出を伴う児童館などの施設整備には取り組みができていません。しかし、よその自治体でできており、東金市でできないことはありえません。今後東金市が発展していくためにも、地域の子どもを増やし、大事にしていく取り組みを市民に分かる形で取り組んでもらえるように訴え続けます。



東千葉メディカルセンターの内部告発について

地域中核病院の東千葉メディカルセンター（MC）は、2020年10月に内部告発文（第1報）がネットに流され、さらに東金市議など数人に郵送されたことにより不正問題が発覚いたしました。

この告発文の内容は、MCの事務部門において、一部の職員に対し規程に反した給与が支給されていること、物品購入・委託業務の契約業者が入札ではなく随意契約で決定され、その業者に不当で高額な契約料が支払われていることなどでした。

そこで、市議会では病院問題検証特別委員会を設置し、弁護士4人からなる第三者委員会に調査いただき、告発内容の事実認定、告発されなかった違反行為の確認、原因分析、再発防止に向けた提言などが行われました。その後、中心人物であった元総務課長ら4人の職員と納入業者3社の社長が逮捕、起訴され、今春までに全員に有罪判決が下りました。

これで不正事件は一応の決着がついたと思われた矢先に、内部告発文（第4報）が出ました。告発の内容は少々細かいのですが、「給与問題はまったく解決されておらず、再び問題提起しなければ、MCの不正問題は解決しない」と告発理由を書いています。

現在、市議会では特別委員会で給与問題を含む不適切な業務運営について検証を重ねており、業務の是正・改善に向けた提言をとりまとめるとともに、12月議会での報告を目指しています。



・・・ 新生みらい ・・・ プロフィール

清宮利男



“子どもは宝”と昔から言われています。

経済格差が広がるなか、子育て家庭を支援する「学校給食費の無償化」を目指してまいります。

皆さまの御意見を募集中！

東金市丹尾150

TEL：090-3680-0818

石崎公一



これまでの長年の経験を活かし、全力で皆様の声を市政に届けます。これからも住みやすい街を目指し、地域ファーストな政治をモットーに日々活動してまいります。

東金市台方1648

TEL：0475-54-1475 FAX：0475-54-1264

佐久間治行



私が議会で取り上げ主張している主なことは、教育の充実、農業振興、ふるさと納税による収入増、学校司書の配置、緊急車両が市内をスムーズに運行できる道路整備です。実現に向け精一杯努力致します。

東金市北之幸谷163-17

TEL・FAX：0475-54-2198

保科勇



市議会議員として3年が経過し、1期目最後の1年となりました。魅力ある東金のまちづくりに引き続き、子育て支援と高齢者・障がい者福祉、産業振興と地域コミュニティ等の取組を推進してまいります。

東金市関下366-11

TEL：090-6101-5417 Mail：sum31ho@outlook.jp

鳥海翔平



28歳で皆様のご支援をいただき、1期目の議員活動をしてまいりました。今後も成長を続けながら、子育てをする父親として、医療従事者として、若い目線でこれからも市政発展の為に活動していきたいと思っております。

東金市西福俵102-8

TEL：090-2902-8537 Instagram：torikai_0209